

高知県「防災フェスタ in 奈半利」に参加

～南海トラフに備える地震保険やハザードマップの活用等を周知～

日本損害保険協会四国支部高知損保会（会長：秋田 洋康：損害保険ジャパン株式会社高知支店長）では、日本損害保険協会が掲げる第9次中期基本計画の柱のひとつである「災害に強い社会の実現」の取組みのひとつとして、高知県損害保険代理業協会と損保ジャパンの協力をいただき、高知県主催「防災フェスタ in 奈半利」に参加しました。

当日は、総合防災訓練も実施され、来場者 1000 名以上が参加しました。

損保協会四国支部は、ブースに立ち寄っていただいた約 200 名に火災保険や地震保険に関するクイズ（子どもには防災意識向上を目的としたクイズ）を実施しました。

火災保険や地震保険に関するクイズ		正誤
1	地震、噴火またはこれらによる津波を原因とする損害は、火災保険で補償される。	×
2	地震保険の対象は「建物」のみであり、「家財」は加入できない。	×
3	高知県は愛媛県と比べて保険料が高い。	○
4	自分の住んでいる地域のハザードマップを見たことがある。	各自
5	火災保険や地震保険を使って無料で住宅修理ができるという勧誘が業者からあった場合、せつかくないので、一度おまかせしてみる。	×

地震保険の対象は建物のみと思われている方が多くいらっしゃいましたので、建物と家財の2種類があることや、家財保険の必要性を説明しました。また、高知県が愛媛県より地震保険料が高いことに驚く方も多く、発生確率の観点から地震保険に加入する必要性をアピールしました。

当支部では、引続き行政等と連携しつつ、災害に強い社会の実現を目指して、防災意識向上に係る取組みを推進して参ります。



損保協会ブースでの活動風景



「防災フェスタ in 奈半利」の全体像